

## 特定非営利活動法人両全トウネサーレ 職員遵守細則

### （目的）

第1条 特定非営利活動法人両全トウネサーレ（以下「当会」という。）は、法人の目的とする障害者福祉の理念の実現に向けて、法令遵守体制の整備と実践を通し、誠実かつ公正な組織の構築を目指し、法人の業務に従事する全ての者（以下、「職員」という）の職務に係る倫理を推進する為に必要な事項を定める。

### （基本理念）

第2条 法人の理念である「人間愛、人間力」の精神に則り、福祉サービスを必要とするご利用者の一人ひとりが、住みなれた地域社会の中で、個人の尊厳が守られ、主体的、自立的に生活して行く為の質の高いサービスの提供について、当会の職員としての意識の堅持と常に新たな創意と工夫を以ってご利用者を支援し、十全なる職務を心がける。

### （定義）

第3条 この規程において用いる用語の意味するところは、以下の各号とする。

- ①職員 : 当会の業務に従事する全ての者（正会員、理事を含む。）
- ②ご利用者 : 当会のサービスご利用者とする
- ③ご利用者等 : 当会のご利用者、ご利用者の保護者及びその他の関係者とする
- ④利害関係者 : 前②、③号該当者とする

### （基本方針）

第4条 基本方針は以下のとおりとする。

- ① 当会職員は、基本的人権を確保する者としての自覚を持ち、あらゆる権利侵害を排除する。
- ② 当会職員は、あらゆる理由において差別を認めない。
- ③ 当会職員は、常に公正・公平・堅実を旨とし、法令を遵守し、業務において私的利益目的の行為をしない。また、当会の活動遂行上、個人的理由による利益が相反する場合は事務局長へ申出て、適正な対処すること。
- ④ 当会職員は、情報の取扱には充分注意し、プライバシーを侵害しない。
- ⑤ 当会職員は、常にご利用者の生活環境に配慮するとともに健全な業務運営を心がける。
- ⑥ 当会及び当会職員は、営利目的団体や公益目的以外の団体へ、金銭及び役務の提供を行わない。但し、当会の経済活動に関する行為は除く。

### （倫理委員会）

第5条 職員の倫理を推進する為の倫理委員会を法人本体及び事業所に設置する。倫理委員会では委員長に倫理監督者を置き、職員の職務に係る倫理の推進に関する指導、助言その他必要な措置を講ずるものとする。

- 2 倫理監督者は法人本体にあつては事務局長、各施設にあつては施設長とする。
- 3 倫理委員会では、有効な法令遵守体制を築くために、倫理教育や研修を行い職員に周知徹底する。
- 4 不正行為の事前防止の措置及びモニタリングを行い、適切な措置を行うと共に、不正行為があつた場合は、関係官庁等への通報を行う。不正行為に対しては就業規則第 47 条に定めるところに従い処分を行う。また不正を知りつつ報告しなかった者に対しても処分の対象とする。

(倫理監督者への相談)

第 6 条 不正行為発見者は直ちに倫理監督者に報告をするものとするが、判断することが困難な場合は、倫理監督者に相談するものとする。

(本規程の位置づけ)

第 7 条 当会倫理規程は、これに違反するときは、倫理委員会の総意に基づいて総会に報告するものとする。

(情報の公開と管理)

第 8 条 当会の業務遂行に関して、特定非営利活動促進法（平成 10 年法律第 7 号）第 28 条、第 29 条、第 44 条による公開を義務付けられている諸帳簿等については、申出があつた場合には公開閲覧とする。

2 前項を除き、当会の業務遂行上知り得た情報は守秘義務を課す。特に事業所におけるご利用者等の個人情報については、守秘義務に関する誓約書を提出するものとする。

附則

この規程は、平成 27 年 2 月 10 日施行する。